

## 「第27回ホークスカップ中学生軟式野球大会」実施に関するお願い

### 1. 開会式について

- 今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開会式は**中止**とします。
- 第26回大会優勝の玄洋中学校には、大会事務局のスタッフが優勝旗と優勝カップを受け取りにうかがいます。日時は後日ご相談の連絡をします。
- 例年開会式で配布しているパンフレットと試合球は、1回戦前日までにグラウンド提供校にそれぞれお渡しします。

### 2. 試合について

- 都合により、監督に変更（代理等）がある場合は、大会事務局まで連絡をお願いします。連絡があれば、監督代行が認められます。  
(但し、試合上公正を欠くと判断される時は、認められない場合もあります)
- 背番号を付けていれば、試合に出場できます。
- 試合時間に制限はありません。
- 7回終了後、同点の場合はすぐにタイブレークに入ります。  
決勝戦においては、コールドゲームは適応しません。  
同点の場合8回、9回の延長戦を行い、勝敗が決まらない場合は10回よりタイブレークを行います。

### 3. その他

○ 1、2回戦の会場校の先生方は、速やかに FAX またはメールで試合結果報告をお願いします。

(報告用紙は1、2回戦用の試合球と一緒にお渡しします)

<連絡先> 坂田 博紀

携帯 090-1927-8889

<FAX 送信先>

092-452-5115

◇メール送信先

[http://ginpukai.com/file\\_entry/](http://ginpukai.com/file_entry/)

開けない方は、[n\\_matsuo901@yahoo.co.jp](mailto:n_matsuo901@yahoo.co.jp)まで

## 大会規約

1. 使用球
  - ・公認球M号 (KENKO BALL)
2. バット
  - ・J・S・B・Bのマークをつけた全日本軟式野球連盟公認バット
  - ・軟式専用木製バット
3. 審判
  - ・公式審判員1名にて行う。
  - ・準決勝以降は、公式審判員2名にて行う。
4. 試合回数
  - ・7回とする。準決勝まで5回以降7点差があるときは、コールドゲームとする。
  - ・試合途中降雨により試合続行不可能な時は、5回終了時点で試合を成立する。
  - ・試合は7回までとし、以降8回からをタイブレークとして、継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者はその前の打者とする。すなわち、無死一、二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、規則によって認められる選手の交代は許可される。同点の場合は次回に継続打順で同じ方法で行う。
  - ・決勝戦においては、コールドゲームは適応されない。なお、同点の場合は、8回、9回延長戦を行い、勝敗が決まらない場合は、10回よりタイブレークを行う。
5. ベンチ
  - ・出場チームは、監督・引率・コーチの3名以内とオーダー表記載の選手とする。
  - ・若番が一塁側とする。
6. 抗議
  - ・問題を生じた場合は監督と主将のみ、抗議が認められる。
7. ベースコーチ
  - ・登録選手（生徒）に限る。必ず、ヘルメットを着用する。
8. 練習
  - ・大会中の会場は、整備運営の都合により早朝練習を中止する。フィールドイングは試合開始25分前より行い各チーム7分間とする。次の試合の先発投手1名および捕手1名は、前の試合の4回終了時点から球場内のブルペンでの投球練習を認める。その際、現在試合中のチームの投球練習の妨げにならないように配慮すること。
9. 集合
  - ・チーム及び監督は、試合開始60分前までに到着し、主将は会場責任者へ通告する。（大会初日、登録の変更がある場合は登録の変更を申し出ること。）
10. オーダー
  - ・第一試合は試合開始40分前とし、第二試合目以降は4回終了後とする。（メンバー用紙5通持参）
11. 服装
  - ・登録選手と監督は、当該チームの統一された同系同色のものを着用することが望ましい。選手は、原則として守備順に背番号を付け、補欠選手も背番号を付ける。
12. 試合
  - ・中学生らしからぬ行為をした者は退場を命じることがある。ボークを誘発するプレーは禁止する。選手はすべて中学生らしいプレーに心がけること。
13. 応援
  - ・応援者は、球場側及び審判の指示する場所で応援する。投手が投球動作に入ったら応援を中止すること。
14. その他
  - ・当日の事故については、当該チームで応急処置を行う。
  - ・事故の責任については、参加者・当事者の負担とする。
  - ・各学校において保険の加入をお願いします。
  - ・本大会は、福岡市中学校体育大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン、JSBB感染予防対策ガイドラインを順守すること。

## 大会取り決め事項

1. 選手の手袋の着用は認めるが、リストバンド・リストガードの着用を禁止する。また、サポーター（手首や指を固定・保護する目的の物）の使用は、医療目的に限り、試合前に大会本部に申し出て許可を得る。
2. 監督・コーチ及び選手のサングラスの使用を原則禁止する。
3. テーピングについては、投手の指先は禁止しその他については審判団の判断に従う。
4. 球場内へは、監督・コーチ・引率及び登録選手以外の入場を禁止する。ファールボールは、両チームの登録選手が処理する。（ただし、試合前のノックに限り、ユニフォームを着用した補助生徒を入場させることができる。）
5. 試合終了後の挨拶で全て終了とし、次の試合のためベンチを速やかにあける。
6. 第一試合のメンバー用紙交換及び攻守の決定等は、試合開始予定時刻の40分前とする。第二試合以後は、前試合の4回終了時とする。（メンバー用紙5通持参）
7. 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とランナーズコーチは、直ちに所定の位置に着くこと。
8. 試合中、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。投手の投球が始まったら次打者は、ネクストバッターズサークル内で立って待つこと。また、競技場内へのマスコットバット、鉄棒及びリング類の持ち込みは認めない。
9. 延長戦(タイブレーク)の全てのタイムについて、1イニング1回とする。
10. メガホンは監督のみ使用することができる。
11. 本塁打を打った打者に握手を求めるため、グラウンドに出て来てはいけない。
12. 中学生らしくない危険なプレーは行わない。  
例 ・ タッチしようとする野手への故意に体当たりをしようとする事。  
・ 完全にベース上にある走者へ強くタッチしたり、突き飛ばしたりすること。  
・ タッチしようとする野手へスパイクを向けて蹴り上げるようにスライディングすること。
13. 「ヤジ」は絶対に慎む。すばらしいプレーは、相手チームであっても拍手を送りたい。
14. 応援団（保護者も含む）は、次のことを守り、各チームの顧問が責任を持って指導すること。
  - ・ 紙吹雪、テープ、個人名を書いたのぼり等を禁止する。
  - ・ 相手チームをヤジったり、相手チームが不利を招くような応援はしない。
  - ・ 指定された応援席から離れて応援しない。
  - ・ 応援席及び会場周辺を散らかさない。
  - ・ 太鼓等の鳴り物での応援は禁止する。（メガホンやペットボトルを叩いての応援は認めない）
15. 選手の身なり等は中学生らしく、試合中は勿論のこと試合前後においても、スポーツマンらしく、マナーには十分留意すること。
16. 攻守交代の時、投手または投手板に近い野手がボールを投手板付近に置く。
17. ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。
18. 選手交代の申し出は監督又は主将が行う。
19. 野球規則 5・10(d)原注（投手は1イニングで投手以外の守備に二度以上つくことは許されない。）は適用されない。同 5・10(l)（1イニングに投手のアドバイスのためタイムが2回とられた場合、自動的に投手交代となる。）は適用される。
20. 突発事故が起きた場合に一時走者を変えたいときは、球審に申し出て審判団が必要と認めるときはこれを許可する。（打者の前位の者、ただし投手は除く。）
21. 連続して試合を行う場合は、40分間の休息時間を確保する。
22. 登録選手の変更は各校の第1試合の開始前のみとする。それ以外の変更は認めない。
23. ネックレス・ブレスレット等の装着は禁止する。
24. 会場校が居ない球場では、第一試合前は、第一試合をする両チームがグラウンドの準備をする。また、シートノック後のグラウンド整備を後攻チーム、審判へのお茶だしを先攻チームがする。試合終了後の整備は勝利チームがする。